

「戦闘後ニ於ケル彼我形勢ノ概要 六月十五日ニ記載シアルガ如シ
(附圖第十九参照)」

第七章 齟齬過失其他將來ノ參考トナルヘキ事項

一 方位ノ判定ニツイテ

五月八日拂曉時第一線超越後其ノ進路ヲ誤リ爲ニ數時間ヲ空費遲延セリ而シテ其ノ原因ト思考サル、モノ左ノ如シ

- (一) 濃霧ノ爲地形ノ展望不可能ニシテ道案内役ニ支タス
 - (二) 超越直後頑強ナル敵ノ抵抗ニ遭ヒ尖兵中隊長大隊長共ニ其ノ戦斗指導ニ没頭セシ爲地形的觀察ヲ逸セルコト
 - (三) 穿貫的突進ヲ企圖セル爲屢々尖兵中隊ヲ交代セシタルコト
- 將來ノ參考

- (一) 平素ヨリ本部六下士官以上ノ適任者ヲ選ビ地圖ノ解讀及地形ノ觀察ニ習熟セシメオキ作戰間之ニ優秀ナル地圖及ニ磁針ヲ携行セシメ地點ノ標示及方位ノ判定等ニ專任セシムルヲ可トス
- (二) ス土民捕虜等ヲ利用スル爲所要ノ兵ニ語學ヲ教育シ簡單ナル會話ヲナシ得ル程度ニナシオクヲ要ス(本作戰ノ初期ヨリ通譯ハ体力ノ關係上落伍レ用ヲナササリキ)
- (三) 支那製地圖ハ不正確ノ点多キモ大体ノ現圖ハナシアリ之カ利用ニ習熟シアレハ某程度ノ地理的憑據ヲ得ルモノナリ
- ニ戰鬥間乃至ハ戰鬥後ニ於ケル警戒戒心ニ就テ
- 五月十日朝台柴村西方廟高地ニ於テ後方警戒戒心ニ任シアリシ中、
 本小隊ハ二十数倍ノ敵ノ攻撃ヲ受ケタルモ小隊長ノ警戒戒心ノ處置
 適切ナリシ爲事前ニ之ヲ發見克ク之ノ敵ヲ數手退其ノ任務ヲ完
 了セリ

即チ小隊長ハ任務ヲ受クルヤ附近ノ地形ヲ觀察シ前方要點ニ駐止中候ヲ出スト共ニ疲勞困憊セル兵ヲ激勵シ所要ノ工事ヲナサレメタリ

又廟内ニハ一兵ミ入ルヲ許サス全部屋外ニテ嚴戒裡ニ待期セシアリタリ其ノ結果敵接近スルヤ速ニ之ヲ察知シ直ツ機ヲ失セテ抵抗戰ニシキ得遂ニ此ノ敵ヲ撃退スルヲ得タリ又此ノ際敵ノ射彈ノ大部分ハ廟ノ入口附近ニ集中サレアリタリ故ニ若シ廟内ニ入りアリタル時ハ悉ク抵抗戰ニ就ク迄ニ大ナル損害ヲ受ケタルモノト判斷サル

三防禦ニ於テモ其ノ戰鬥指導積極的ナルヲ要ス

前項中本小隊ノ實施セル戰鬥ニ於テ督戰下ニ階段島ヲ利用シテ近接シ來レル五〇乃至六〇名ノ敵ニ對シ小隊ハ四名乃至五名位ノ小組ヲ以テ數次攻撃シ自兵ヲ以テ悉ク撃退セリ之ガ爲メ我カ志氣益々揚リ是ニ反シ敵ハ谷底或ハ家屋内ニ我カ銳鋒ヲサケル情況ニ到

リ極メテ優勢ナル敵ノ包圍下ニ任務ヲ完ウスルヲ得タリ

四、九日午後ニ於ケル戦斗ニ於テ得タル教訓

九日午後ニ於ケル大隊ノ戦斗ハ一種ノ遭遇戦ニシテ而モ我ハ予知ヲ以テ敵ノ不知ニ當リ且ツ敵ハ第一線敗退ノ影響ヲ蒙リ志氣沮喪シ退却中ノ敵ナリシ等好條件ノモトニ開始セラレタルモノナリ以下其ノ間ニ得タル教訓ヲ述フ

(一) 敵態勢ノ浮動ニ求シ確平タル信念ヲ以テ果敢放膽ナル攻撃ヲ断行スルハ愈々其ノ態勢ヲ混亂セシメ其ノ戦力ヲ支分シ極メテ有利ナリ殊ニ其ノ指揮中斷ヲ衝ク場合ニ於テ然リ(今日大隊ノ重点指向部ハ八十軍々部並ニ合行李ノ進路ナリナリ)

(二) 本戦斗ニ於テ遭遇セルカ如キ敵ニシテ而モ絶對的ニ有利ナル戦機ヲ捉ヘタル場合ニ於テハ射撃ハ専ラ重機、輕機、擲彈筒等ヲ以テ任セシメ小銃手ハ一意脚力ニヨリ突進突入セシメ射撃ハ寧ろ口禁ハ

ルヲ可トス 蓋シ突入部隊一時停止シ射撃スルトキハ着シテ爾后
突進ヲ並帶セシメ爲ニ敵ヲシテ態勢ヲ取り直サシムル余補ヲ得シ
ル結果トナルヲ以テナリ

本作戦開始前大隊ハ予メカカル情況ノ生起ヲ予想シ且任務ヲ
考察シ右趣旨ノモトニ訓練シアリシタメ好結果ヲ得タリ
五歩飛ノ協同ニ就テ

九日 戦斗ニ於テ飛行機トノ協同ハ理想的ニ實施セラレタルモノト
信ス 即チ飛行機ハ低キハ四五十米ノ低空ヨリ我カ動作ヲ
視シ或ハ擲彈筒ノ榴彈ノ射撃ニヨリ或ハ地上ヨリスル帽子ノ脱離
ニヨリ我ノ企圖スル突撃目標ニ直チニ適切ナル爆撃ヲ又ハ掃射
ヲ實施シ地上部隊ハ恰モ飛行機ノ磁カニ誘引サルカ如ク未タ
煙オサマサル目標ニ突込ム有様ニテ眞ニ空陸一体ノ妙味ヲ體驗
ルヲ得タリ

六完全ナル殲滅ハ自兵ニヨツテノミ可能ナリ

本次作戦間敵ヲ黄河ニ壓迫シ殆ント完全ニ捕捉シ得タリト思
惟セシタル場面多クアリシモ最後ノ處理ヲ射撃ニヨラントセシ場
合ニ於テハ多クハ成功セス自兵ヲ以テ断呼處理セシ際ハ大部分成
功シアリ例ハ十四日ニ於ケルヒダリム前面ニ於ケル殲滅戰ニ於
テ第十三中隊其カバ断平自兵ヲ以テ敵ニ突入其ノ大部分ヲ刺殺
スハ黄河ニ溺死セシメ甚シキハ一ヶ分隊ニテ百三十余名ノ捕虜ヲ獲
ル等殆ント完全ニ之ヲ殲滅シ得タルカ如シ

七戰死傷者ノ收容後送ニ付テ

十日以後大隊ハ二十名内外ノ負傷者及ヒ火葬シ得サル戰死體ヲ
担架ニテ連行セリ之カ爲捕虜百數十名ヲ要シタリ若シ捕虜
ヲ獲得シ得サリシ時ニ於テハ大隊戰力ハ著シク低減セルモノト
思ハル少ナクトモ苦カヲ主体タル收容隊ヲ追及セシメ第一線ノ累

ヲ除クヲ要スルモノト思惟ス
八捕虜ノ取扱ニ就テ

勘カラサル便益ヲ受ケタリシカ中述ヨリ糧秣ノ不足等ヨリ十分ナル
取扱ヲナス能ハサルニ至ルヤ投降者等漸次減少シ甚シキハ逃走
ヲ企テル者サヘモ出スニ至レリ 本次作戰ノ如ク大障礙ヲ以テ其ノ
退路ヲ遮断セルカ如キ場合ニ於テハ予メ其ノ獲得手段ヲ考慮
シ且ツ之カ收容ニ必要ナル津備ヲナシアルトキニ於テハ多大ノ
成果ヲアケ得ルモノト信ス

九給養關係ニ付テ

地方物資ヲ過早ニ消燼スルノ僻依然タリ即チ作戰初期相
當豊富ニアリシ生獸モ極メテ不經濟的ナル消費ニヨリ消燼
シ作戰末期ニ於テハ頗ル不足ヲ來セリ 平素ヨリ之カ教育ヲ
兵ニ至ル迄徹底セシメ且之等ヲ消費スルニ當リテハ關係者ニ於

9961

64

テ某程度統制監督スルヲ要ス
防虫剤ハナシ得ル限り携行スルヲ可トス
支那家屋内等ニ宿營スルニ當リ虫害ニ悩マサレ睡眠不足ヲ
來シ兵ノ戦力ヲ低下スルコトナリ

1033

124